

職員アンケート

目 次

職員アンケート	146
第 1 章 調査の概要	148
1 . 調査の目的	148
2 . 調査の方法と回収結果	148
3 . 集計について	148
第 2 章 調査結果	149
1 . 性別	149
2 . 勤務年数	149
3 . 八街市の現状（強み・弱み）	150
4 . 八街市の目指すべきまちづくりの方向(自由記入)	152
5 . 今後の重点分野（自由記入）	153
6 . 今後取り組むべき新たな施策・事業（自由記入）	155
7 . 現総合計画で掲げる将来像の達成度	163
8 . 八街市のイメージ	164
9 . 八街市の将来像	165
10 . 市町村合併について	166
11 . 市町村合併についての理由（自由記入）	167
第 3 章 調査票	171

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、今後20年の将来にわたるまちづくりの指針となる総合計画の策定にあたり、まちづくりに対する職員の評価、考えを把握し、計画づくりの基礎資料とするものです。

2. 調査の方法と回収結果

調査対象：部長以下全職員 621人（男292人、女329人 平成15年10月1日現在）

調査方法：調査票データ入力形式

調査期間：平成15年10月～11月

有効回答数（n）：489票

有効回答率：78.7%

3. 集計について

(1) アンケート集計は、各設問の単純集計を行いました。『8 八街市のイメージ』と『10 市町村合併について』は、市民意識調査との比較を行いました。

(2) 表中の比率(%)は、小数点第2位を四捨五入してあります。したがって、率の合計値が100%にならない場合があります。また、『8 八街市のイメージ』は指標化して表示し、小数点第3位を四捨五入してあります。また、自由意見は、類似意見の合計件数を表示してあります。

(3) 指標化について

『8 八街市のイメージ』については、設問間の差や全体の水準をはかるため、重みづけを行い指標化しました。重みづけの評点については、以下の方法で計算しています。

『8 八街市のイメージ』の指標化

$$\left. \begin{array}{l} \text{「そう思う」の回答数} \times 3 \text{点} \\ \text{「やや思う」の回答数} \times 1 \text{点} \\ \text{「さほど思わない」の回答数} \times -1 \text{点} \\ \text{「思わない」の回答数} \times -3 \text{点} \end{array} \right\} \text{の合計} \quad \text{「無回答」を除く回答総数}$$

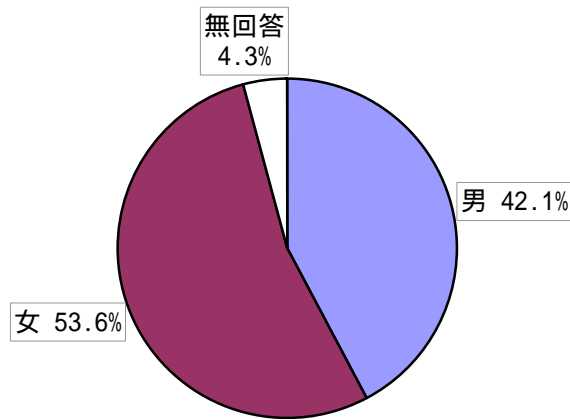
したがって、イメージ指数は、上限「3」（そう思う）、下限「-3」（思わない）で、中間値は「0」となります。

第2章 調査結果

1. 性別

男性が42.1%、女性が53.6%で、女性の方が11.5ポイント多くなっています。

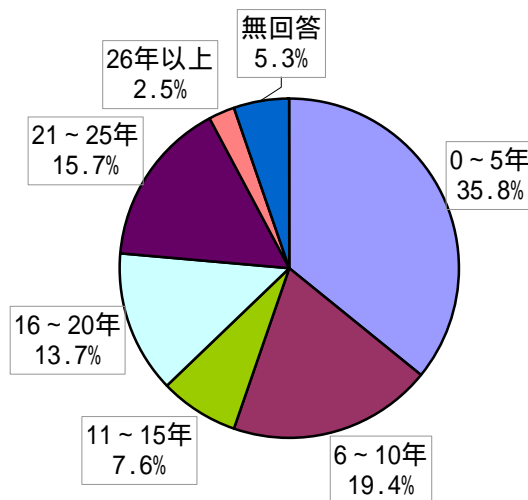
図表 1 性別 (n)=489



2. 勤務年数

0～5年が35.8%で最も多く、6～10年(19.4%)、21～25年(15.7%)、16～20年(13.7%)と続いています。

図表 2 勤務年数 (n)=489



3. 八街市の現状（強み・弱み）

「強み」は「自然環境に恵まれている」、「落花生で有名」

八街市の現状を、「強み」、「弱み」で分けて自由に記入してもらったところ、まず「強み」では、「自然環境に恵まれている」(101件)が最も多く、次いで「落花生で有名である」(88件)、「都心から50キロ圏・空港に近いなど立地に恵まれている」(66件)となっています。

図表 3 八街市の「強み」(2件以上)

八街市の「強み」	件数
自然環境に恵まれている	101
落花生で有名である	88
都心から50キロ圏・空港に近いなど立地に恵まれている	66
農業が盛んである	36
緑が多い	28
農産物が豊富である	26
ふれあいバスがある	24
災害が少ない(災害に遭う可能性が少ない)	22
土地が広い・未開発の土地が多い	17
地域の結びつきが強い	16
北口開発	14
商業施設が多い	13
福祉が充実している	12
八街駅	12
クリーンセンター	11
人口構成が若い	11
人口が増加している	9
住みやすい	8
市民の人柄がよい	8
平地である	8
JRの駅が2つある	6
土地が豊である(優良農地である)	5
祭りが盛んである	5
線引きをしていない	5
道路網が張り巡らされている	4
教育が充実している	4
立派なけやきがある	3
公共施設が充実している	3
交通網	3
良い意味で都市化していない	2
活気がある	2
今後発展する可能性を秘めている	2
ピーちゃん、ナツちゃんのキャラクターがある	2
公害が少ない	2
何もしなくても何とかなる	2
スポーツ振興に力を入れている	2
記入件数合計	598

「弱み」は「道路整備の遅れ」・「交通が不便」

また、「弱み」では、「道路の整備が遅れている」(214件)が最も多く、次いで「交通の便が悪い」(95件)、「線引きが行われていない」(60件)となりました。基盤整備の遅れをあげる意見が上位を占めていますが、「財政難である」(50件)との意見も多く見られました。

図表 4 八街市の弱み(2件以上)

八街市の「弱み」	件数
道路の整備が遅れている	214
交通の便が悪い	95
線引きが行われていない	60
上下水道整備が遅れている	56
歩道が整備されていない	53
財政難である	50
都市基盤整備が遅れている	48
排水対策が遅れている	47
公園が少ない	31
公共施設整備が遅れている	26
特徴がない	25
農業以外の産業が発達していない	24
駅周辺がさびれている	23
教育施設整備が遅れている	22
乱開発によるスプロール化が起きている	22
市民と行政の連携がない	21
福祉施設・サービスが不十分である	21
文化施設整備が遅れている	16
砂埃がひどい	16
警察署がない	15
人口が急増している	13
職員が旧態依然としている	12
街灯が少ない	12
地域の結びつきが希薄である	9
商業施設が偏っている	8
農業従事者が減少してきている	8
治安が悪化している	8
区画整理されていない	6
庁舎の設備が不十分である(窓口が混んでいる)	6
活気がない	5
医療機関が不足している	5
商店街がさびれている	4
児童館がない	4
資源が少ない	3
自然が減少してきている	3
市域が広すぎる	3
市の目標が具体的になっていない	3
外国人が増加している	2
学童クラブが不足している	2
川がない	2
市民からの苦情が多い	2
投票率が低い	2
水辺がない	2
幼稚園・保育園が不足している	2
若者が集まらない	2
記入件数合計	1,032

4. 八街市の目指すべきまちづくりの方向(自由記入)

目指すべきまちづくりの方向は「住みよいまち」・「自然と調和したまち」

八街市の今後のまちづくりの方向を自由に書いてもらったところ、「市民全員（子ども・高齢者・障害者など）が住みよいまちづくり」（37件）が最も多く、次いで「自然と調和したまちづくり」（34件）となりました。以下、「福祉（施設・サービス）の充実したまち」（32件）、「安心して暮らせるまち」（29件）と続いています。

図表 5 目指すべきまちづくりの方向（3件以上）

目指すべきまちづくりの方向	件数
市民全員（子供・高齢者・障害者など）が住みよいまちづくり	37
自然と調和したまちづくり	34
福祉（施設・サービス）の充実したまち	32
安心して暮らせるまち	29
農業を活かした（維持・振興）まち	24
自然（農業・緑）と都市（産業・商業）の調和の取れたまちづくり	24
道路（道路網）の整備	23
市民と行政が一体となった（市民の力を活かした）まち	21
産業（工業・商業）の発展したまち	17
安全に暮らせるまち	16
八街市の独自の特性を活かしたまちづくり	14
良好な住環境の整備	13
地域コミュニティの充実したまち	10
教育環境（施設）の充実したまち	10
活気ある（賑わいのある）まちづくり	9
都市基盤整備を進める	9
交通機関の利便性の向上	8
高齢者に優しいまちづくり	8
市民が利用しやすい公共施設の整備	8
まず線引きをし、都市計画作りをする	7
経費をかけない行政運営	6
都市計画を明確にする	6
文化施設の充実	6
市民の憩いの場のあるまち	5
区画整理されたまちづくり	5
子供たちがのびのび遊べる公園を増やす	5
他市町村から人の集まるようなまち	5
人の集まるような施設の建設	5
都市機能の整備されたまち	5
子育てしやすい環境作り	5
駅周辺の整備・活性化	4
開発を規制するべき	4
きれい（清潔）なまち	4
財政を豊かにする（税収を上げる）	4
商店街を活気あふれるものにする	4
今あるものを整備していく（現状を大きく変える必要はない）	3
地元で働く場を作る	3
生涯学習の機会・場の提供	3
特産品を活かし、まちを活性化する	3
文化的な都市	3
豊かさの感じられるまち	3
記入件数合計	505

5. 今後の重点分野（自由記入）

今後の重点分野は「道路（歩道）の整備」、「福祉施設・サービスの充実」

今後の重点分野を自由に書いてもらったところ、「道路（歩道）の整備」（68件）が最も多く、次いで「福祉施設の整備・福祉サービスの充実」（34件）、「公共交通の利便性向上（JRの複線化など）」（27件）と続いています。

図表 6 今後の重点分野（全分野：5件以上）

今後の重点分野	件数
道路（歩道）の整備	68
福祉施設の整備・福祉サービスの充実	34
公共交通の利便性向上（JRの複線化など）	27
農業振興（後継者育成・支援施策・農地の保全・PR）	24
教育の充実・教育環境の整備	23
都市機能・生活基盤の整備	19
警察署の設置・防犯体制の強化	17
排水施設の整備	13
落花生や野菜の八街ブランドの確立とPR	13
財政基盤の強化（財源確保）	13
自然環境の保全・自然と調和の取れたまちづくり	12
市民が参加できる行政・市民との協働	12
線引きの実施	10
地域にあった土地利用の推進・遊休地の活用	10
公園、遊び場の増設	10
住民同士の交流機会の増加・地域コミュニティの発展	10
上下水道の整備	9
農業以外の産業の振興・雇用機会の確保	9
公共施設の増設	9
医療施設の充実・救急医療体制の整備	7
巨額の起債による事業（施設建設）の見直し・廃止	7
計画的な住宅地の建設・良好な住環境の整備	6
職員の資質の向上・意識改革	6
小規模宅地の乱開発を規制する	5
ごみ分別の徹底・不法投棄取り締まり	5
文化施設（文化ホール）の整備	5
保育所待機児童数ゼロ・保育所の民営化	5
子育て支援施設・サービスの充実	5
記入件数合計	451

図表 7 施策の体系別重点分野（2 件以上）

重点分野		件数
都市基盤・土地利用 (181)	道路（歩道）の整備	68
	公共交通の利便性向上（JRの複線化など）	27
	都市機能・生活基盤の整備	19
	排水施設の整備	13
	線引きの実施	10
	地域にあった土地利用の推進・遊休地の活用	10
	上下水道の整備	9
	計画的な住宅地の建設・良好な住環境の整備	6
	小規模宅地の乱開発の規制	5
	駅周辺の開発（駐車場設置）による活性化	3
	印象に残る街並みの整備	2
生活環境 (54)	警察署の設置・防犯体制の強化	17
	自然環境の保全・自然と調和の取れたまちづくり	12
	公園、遊び場の増設	10
	ごみ分別の徹底・不法投棄取り締まり	5
	街全体の清掃（定期的に）・環境美化運動	3
産業経済 (63)	農業振興（後継者育成・支援施策・農地の保全・PR）	24
	落花生や野菜の八街ブランドの確立とPR	13
	農業以外の産業の振興・雇用機会の確保	9
	企業を誘致し、税収・雇用の拡大を図る	4
	工業団地を作る	3
	駅前区画整理地区への店舗誘致・商店街の形成	3
	若い世代の働く場の確保	2
他市から買い物に来るような商業施設の発展	2	
文化域 (29)	教育の充実・教育環境の整備	23
	文化施設（文化ホール）の整備	5
健康福祉 (60)	福祉施設の整備・福祉サービスの充実	34
	医療施設の充実・救急医療体制の整備	7
	保育所待機児童数ゼロ・保育所の民営化	5
	子育て支援施設・サービスの充実	5
	高齢者施設の充実・ユニバーサルデザインの取り入れ	3
	ボランティア等を含めた、シルバー人材の有効活用	2
老人や障害者が集って楽しめる場所の確保	2	
行政 (64)	財政基盤の強化（財源確保）	13
	市民が参加できる行政・市民との協働	12
	住民同士の交流機会の増加・地域コミュニティの発展	10
	公共施設の増設	9
	巨額の起債による事業（施設建設）の見直し・廃止	7
	職員の資質の向上・意識改革	6
	徴税強化・収納体制の整備	3
行政サービスの充実（市役所出張所の設置など）	2	

6. 今後取り組むべき新たな施策・事業（自由記入）

今後取り組むべき新たな施策は「公園整備」、「道路・歩道整備」

今後取り組むべき新たな施策・事業を自由に書いてもらったところ、「公園整備事業」（28件）が最も多く、次いで「道路整備事業」（25件）、「歩道整備事業」（23件）と続いています。上位10項目のうち4項目は都市基盤整備に関する施策となっています。

図表 8 今後取り組むべき新たな施策・事業（全分野：5件以上）

施策・事業の名称	件数
公園整備事業	28
道路整備事業	25
歩道整備事業	23
教育環境の充実	19
都市計画(線引き)の実施	16
企業(工業団地等)誘致	15
市民との協働	14
八街警察署の早期設置(治安の強化)	13
文化ホールの建設	10
JR総武本線複線化事業	9
総合レジャー施設(観光スポット)の建設	9
排水整備事業	8
上下水道整備	8
商店街整備	8
農業後継者の育成	8
福祉施策の充実	8
保育サービスの充実	8
児童館の設置	8
駅周辺の整備	7
道の駅の整備	7
八街市PR事業(ブランドの確立)	7
社会教育施設の建設	7
滞納整理	7
右折レーン整備事業	6
バイパス整備	6
自然環境の整備	6
特産品の開発・イベントの開催	6
大型商業施設の誘致	6
短大、大学、専門学校などの誘致	6
スポーツ施設の整備	6
窓口サービスの向上	6
障害者施設の充実	6
観光農業の推進	5
ピーちゃんナッチャンキャラクターグッズ等企画販売事業	5
商業・工業の活性化事業	5
特色ある農業の振興	5
財源の確保	5
民間の行政への参入・融合	5
事務の効率化	5
医療機関・体制の充実	5
高齢者福祉施設の建設	5
福祉相談窓口の拡充	5

(1) 土地利用・都市基盤

「道路・歩道整備」・「線引きの実施」・「JR総武本線複線化」が上位

今後新たに取り組むべき施策・事業のうち「土地利用・都市基盤」に関連するもので最も多かったのは、「道路整備事業」(25件)でした。次いで「歩道整備」(23件)「都市計画(線引き)の実施」(16件)「JR総武本線複線化事業」(9件)などとなっています。

図表 9 今後取り組むべき新たな施策・事業(土地利用・都市基盤)

施策・事業の名称	件数	施策・事業の内容
道路整備事業	25	道路拡幅、側溝設置、交差点改良
		上下水道の確保等、関係各課と協議し、掘り直しを防ぐ
		国・県・市が一体となった整備
歩道整備	23	歩行者専用通路の整備
		通学路・駅周辺を優先的に整備
		重要路線は、部分的でも用地を確保し暫定歩道を設ける
都市計画(線引き)の実施	16	市街化区域・市街化調整区域の設定を行い、スプロール化を防ぐ
		市街化区域内では都市基盤整備の各種事業を重点的に行う(補助事業を利用)
		市街化を図るべき地域と農業振興すべき地域をはっきりさせ、市の土地利用計画の実現を目指す
JR総武本線複線化事業	9	JRに対し、線路を複線化し電車を増発することを働きかける
排水整備事業	8	冠水道路、冠水通学路の解消
		排水路の断面確保、調整池の建設、流出抑制
上下水道整備	8	市内全域の上下水道整備
		農林部局を含む補助事業(北総中央用水)を有効活用した整備事業(農業用水からの転用)
駅周辺の整備	7	駅北側の区画整理・駅前駐車場の設置
右折レーン整備事業	6	渋滞緩和のため、渋滞する交差点の右折レーンの設置
バイパス整備	6	八街バイパスの早期完成
		国道409号線のバイパス的道路の整備
		県と市のお互いの役割分担を明確にし、早期に事業化が図れるよう事業推進を図る
土地利用計画策定事業	2	無秩序な市街化を抑制するための開発規制
環状道路整備	2	市内環状化構想の早期実現
都市整備事業	2	区画整理事業の推進
交通網整備	2	道路ネットワークの見直し(空港あるいは高速道路IC、周辺核都市への連携)
環境保全対策推進事業	2	下水道の整備
八街南部地区産業開発計画	2	山田インターチェンジに隣接する地区に工業団地を造成し、産業に乏しい南部地区を活性化する
		旧川上村の千葉・佐倉に接した旧塩古方面(千葉リサーチ・パークの開発による研究・レジャー・住宅施設整備中)に利便性の高い住環境を整備
酒々井インターチェンジの開設	1	輸送道路整備を行い、優良企業誘致を促進する
用途別特定街区の制定	1	娯楽、小売店、飲食店街区等同じ業種ごとに1つの街区に集めて集客をはかる(住宅地との隣接を避け自動車、直通バス等で来るようにする)
道路の名称設定	1	「落花生ストリート」「スイカストリート」等の名称を付ける
ふれあいバスの充実	1	ふれあいバスの本数の増発

(2) 生活環境

「公園整備」・「八街警察署の早期設置（治安の強化）」が上位

今後新たに取り組むべき施策・事業のうち「生活環境」に関連するもので最も多かったのは、「公園整備事業」(28件)でした。次いで、「八街警察署の早期設置（治安の強化）」(13件)、「自然環境の整備」(6件)などとなっています。

図表 10 今後取り組むべき新たな施策・事業（生活環境）

施策・事業の名称	件数	施策・事業の内容
公園整備事業	28	自然環境を活かした、アスレチック等の遊具や遊歩道の整った多目的公園の整備
		岡田、大谷流、根古谷の水田を利用した親水公園の整備
		南部地区に自然の地形を活かした森林公園を整備し、ジョギングコースやパーベキューエリアを設ける
		文違調整池は調整池公園、クリーンセンター周辺については自然・環境公園として整備
		市民のボランティア・利用者等による維持管理
八街警察署の早期設置（治安の強化）	13	犯罪、災害防止の為に警察署・消防署の設置
		非営利団体（GAのような）によるパトロールを実施し、犯罪を未然に防ぐことを市として促していく
自然環境の整備	6	里山を保全する
		市民1人1株運動とし植木の苗や花の苗を植え緑化の推進をはかる
		谷津田とその周辺の自然環境を生かし、自然とのふれあいの場や子供達の自然環境の場として、散策道等を整備する
地域コミュニティの活性化対策	4	地域のコミュニティの発展に資する市・地域主催の行事の強化・各種援助
		新旧住民の交流の場を設ける
市民の交流の場の整備	2	公園や市役所駐車場などの既存施設を利用し多目的な広場整備を図り、市民の交流の場を提供する
清潔なまちづくり運動	2	ゴミの減量化・分別収集の徹底・リサイクル率の向上
高所得者呼び込み施策	1	住環境に恵まれた「グレードアップエリア」を創設し、グレードの高い住民層の獲得を図る
市営住宅解体工事	1	耐用年数を過ぎた市営住宅について、近隣の同規模市町並に戸数を減少させる工事

(3) 産業経済

「企業（工業団地）誘致」・「レジャー施設の建設」が上位

今後新たに取り組むべき施策・事業のうち「産業経済」に関連するもので最も多かったのは、「企業（工業団地等）誘致」（15件）でした。次いで、「総合レジャー施設（観光スポット）の建設」（9件）、「商店街整備」（8件）、「農業後継者の育成」（8件）などとなっています。

図表 11 今後取り組むべき新たな施策・事業（産業経済）

施策・事業の名称	件数	施策・事業の内容
企業（工業団地等）誘致	15	工場、大型流通店舗、場外馬券場等の誘致
		カジノの誘致
		工業団地の設置
総合レジャー施設（観光スポット）の建設	9	県外や市外の人が集まってくるような八街にしかない魅力のある施設（観光スポット）づくり
		広大な土地や自然を活かした、集客力のある多目的施設の建設
		八街の名所を巡るハイキングコースの設定 映画館・ゴルフ場等の施設の建設
商店街整備	8	古い商店街を再開発することにつながり、美しい町並み、衛生的な街作りができる
		駐車場の整備
		空き店舗（倉庫）を利用した市民活動の拠点となる施設の構築
農業後継者の育成	8	特区を活用した、多様な担い手による農業後継者の育成
		農業講習や農業実習を農家と協同で実施、市が費用に関して全面的に負担、農業に対するイメージの転換を図り、活力の創出と高齢化に対して効果を生む
道の駅の整備	7	道の駅等、地域の農産物をPRできる施設の設置・住民を対象とした農業体験の実施
八街市PR事業（ブランドの確立）	7	農作物のオリジナルブランドを確立し全国に発信する。PR方法は広告代理店に依頼するなど、ダイナミックな事業運営を展開する
		インターネットを利用して市民の意見を集め、産業の活性化に結びつける
特産品の開発・イベントの開催	6	特産の落花生に関連づけたイベント・競技の開催
		落花生の新商品開発
大型商業施設の誘致	6	郊外にできた広い駐車場を完備した大・中規模店舗に客足を取られた小売店を、ショッピングセンターにまとめて、再生を図る（渋滞の解消）
		八街に人を呼ばないとお金が入らないで衰退していきだけ。思い切った大型のアウトレットモールなどを作る
		大型店を誘致し、当市住民、または近隣市町村住民の消費活動を八街市で行わせる。また郊外誘致により、大型店を中心とした郊外の発展を促す

(前頁図表 11 の続き)

施策・事業の名称	件数	施策・事業の内容
短大、大学、専門学校などの誘致	6	若者が地域に残り、また、他県から若者が増え、雰囲気元気になる。JR複線化の実現にも影響を及ぼしてくる
観光農業の推進	5	未利用の田・畑・山林等を活用した農業公園等の整備 農家と市民の明るい共存だけで無く観光と農業をドッキングさせ、八街市を全国的にも位置づけること 体験農業を市の援助でレジャー化していく
ピーちゃんナッチャンキャラクターグッズ等企画販売事業	5	キャラクターグッズ等を作製し、販売収入を得る
商業・工業の活性化事業	5	商工業者への助成や研修等により、経営の安定や雇用の創出 八街市で生産される農産物食品加工業を育成するため、物流拠点の整備や工業団地の整備
特色ある農業の振興	5	農地の集約を進め、特定産物の生産を奨励し、安定的かつ高収益が可能な事業とする 農業公社を設立し、農地を保全するため農地の流動化・集積を図る
農業の法人化	3	地方独立行政法人の設立および構造改革特区の認可による農業事業の展開 農業に意欲のある人への貸し地による経営の大型化や、他の農地法人などによる農地の有効利用を図る
休耕地活用	3	農地の利用増進・休耕地の活用

(4) 地域文化

「教育環境の充実」・「文化ホールの建設」が上位

今後新たに取り組むべき施策・事業のうち「地域文化」に関連するもので最も多かったのは、「教育環境の充実」(19件)でした。次いで、「文化ホールの建設」(10件)、「社会教育施設の建設」(7件)などとなっています。

図表 12 今後取り組むべき新たな施策・事業(地域文化)

施策・事業の名称	件数	施策・事業の内容
教育環境の充実	19	今後の児童・生徒の推計数を把握した上での適正な学区編成により余分となるプレハブ校舎のリース料の削減及び南北の適正な学校配置
		IT・英語教育
		古い校舎の改築・改善
文化ホールの建設	10	駅前の文化施設用地は、より収益性のある施設として位置づけ、八街中学校及び市役所第2庁舎、八街東小学校は、複合的な施設として総合的に計画する
		合唱コンクールや全国大会・関東大会を目指している吹奏楽部等、文化活動の充実と開催の為の場
		音楽鑑賞やお芝居が見られ他市町村からも楽しんで観に来てもらえるのではないかな
社会教育施設の建設	7	公民館や文化施設、福祉施設の増設・建替え
スポーツ施設の整備	6	公式の大会が開催できる野球場及びサッカー場の建設
		クリーンセンターの余熱利用によるプールの設置
地域社会と連携した青少年の教育	4	青少年の現状の把握と、青少年の視点に立った育成
文化財の保護	3	八街の歴史・自然誌・民俗に関する自治体史を作成し、市民の中に郷土に対する正しい歴史・情報を提供し、深い郷土愛を育む
スクールバスの運行	3	一定距離以上の低学年児童を対象としたスクールバスの運行
市民と協同の生涯学習事業	2	高校生や大学生のボランティアを小・中学生や高齢者への教育ボランティアに活用する
学校施設(複合施設)整備事業	1	学校施設を多用途多目的に活用できるようにし、地域のコミュニティの場や、少子高齢化社会に対応した施設として整備

(5) 健康福祉

「福祉施策の充実」・「保育サービスの充実」・「児童館の設置」が上位

「健康福祉」に関連する施策・事業で最も多かったのは、「福祉施策の充実」(8件)、「保育サービスの充実」(8件)、「児童館の設置」(8件)でした。次いで、「障害者施設の充実」(6件)、「医療機関・体制の充実」(5件)、「高齢者福祉施設の建設」(5件)、「福祉相談窓口の拡充」(5件)などとなっています。

図表 13 今後取り組むべき新たな施策・事業(健康福祉)

施策・事業の名称	件数	施策・事業の内容
福祉施策の充実	8	老若男女、だれもが心豊かに生きがいを感じられる事業 市民の立場に立った福祉行政
保育サービスの充実	8	保育園待機児童数ゼロにするため、保育士の人数増加、保育園数の増加 保育所の民間導入を図りアイデアを出し合い公立・私立の両輪で保育行政を進める 幼稚園の時間外保育、保育園での幼児教育を行うことにより、児童の基礎学力の向上に繋げる
児童館の設置	8	小さい子をもつ母親の交流の場として児童館を中心に作っていく 子供たちが安心して出入りが出来遊びや、学習室、相談室などを設けやすらぎの場所を創る
障害者施設の充実	6	在籍できる人数の増加をするために、職員の人数の増加、施設部屋数の増築 障害児保育の研修への積極的参加
医療機関・体制の充実	5	休日、夜間における医療機関の確保
高齢者福祉施設の建設	5	老後を安心して過ごせる、低料金で、誰もが入所できる医療施設が整ったホームの建設
福祉相談窓口の拡充	5	子育てについての悩み等を気軽に相談にいける場の設定 保健・福祉・介護に関するサービスや手当等を総合的に把握し相談できる窓口や人材の育成
子育て支援センターの設置	4	年代を問わず、子育てについて誰もが気軽に相談できる場の提供
高齢者の就業対策	3	ボランティアとしての活用、趣味を活かした活用、地域づくりのリーダーとしての活用などの施策をたてる 農家で手伝う農業ヘルパー的な人材を高齢者に提供する支援
バリアフリーの推進	3	道路などの改修
在宅介護の支援	2	介護カーでの家庭訪問、入浴介助など行う
男女共同参画の推進	2	すべての人々が豊かさやゆとりを実感できる両立ライフ型社会に向けての施策の展開を図る
保健活動	2	思春期の頃から健全な父性・母性を育成できるようにする 介護予防としてのサイクリングロード及びハイキングコースの設置
医療費補助	1	人間ドッグに対し国民保険加入者に市から補助を出す
福祉施設の連携	1	つくし園・幼稚園・保育園と席を置き行き来の出来る環境をととのえる
動物保護事業	1	犬・猫等の去勢・避妊手術代金の一部補助、野良犬を介助犬として養成、里親募集

(6) 行政

「市民との協働」・「滞納整理」・「窓口サービスの向上」が上位

「行政」に関連する施策・事業で最も多かったのは、「市民との協働」(14件)でした。次いで、「滞納整理」(7件)、「窓口サービスの向上」(6件)などとなっています。

図表 14 今後取り組むべき新たな施策・事業(行政)

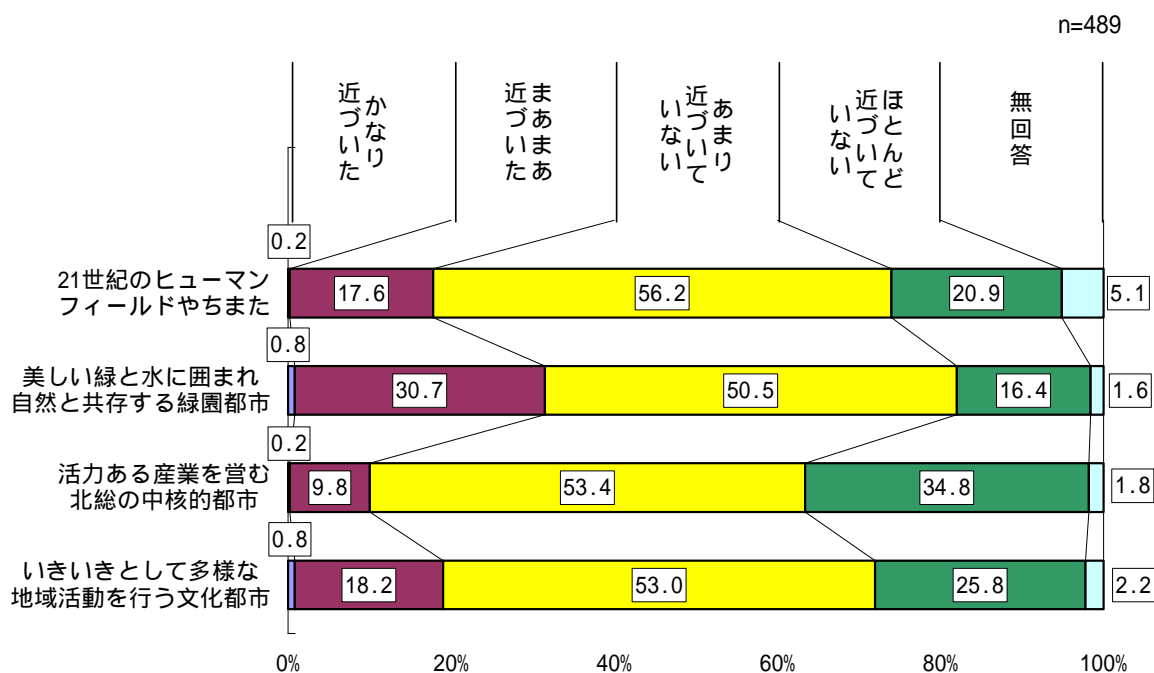
施策・事業の名称	件数	施策・事業の内容
市民との協働	14	退職者や主婦の能力を活かせるような場(福祉・子育て・文化活動等)を用意する 昼間の地域の巡回(散歩)や、共稼ぎ夫婦の子供の放課後の遊び場の管理などの活動を行い地域コミュニティの発展につなげる ボランティアセンターの機能をより充実させ、福祉分野にとらわれず地域ごとのネットワークを形成する きめの細かな市民サービスを提供していくためにNPO等(ボランティア団体含む)と連携する
滞納整理	7	滞納者の管理を一元化し、一部個別に行っている徴収を一元化して、収納効率を上げる 悪質な滞納者に対し住民サービスを規制する
窓口サービスの向上	6	市役所の業務時間を延長(土、日、祝祭日を含め)し、来庁者の利便の向上を図る 総合窓口の設置 市民の要求にすぐ対応出来るような課の設置
財源の確保	5	クリーンセンターの余剰能力を使った他市町村のゴミの受入 収納率向上に向けた目標を決めた事務の実施 利益を生むような施策を実施し、大型事業の凍結、見直し、数億円以上の事業は再検討する
民間の行政への参入・融合	5	スポーツプラザ、給食センター、ふれあいバス、保育園等の民間企業への委託
事務の効率化	5	職員でできることは職員でやり、時間外や人員増は行わないことを前提とする 各セクションに応じた指標が投入できるような管理部門を設置し、事務事業を把握する 事務事業の見直し
出張所の設置	4	出張所の増設
公聴機会の拡充	3	事業の実施を住民投票により問う。事業を行うときのメリット(利便性)、デメリット(他の事業ができなくなる等)を公表し、メリットの方が大きく行った方がよいか、デメリットの方が大きく中止するか市民に納得してもらってから実施する
職員資質の向上	3	研修制度の充実・能力主義の導入
情報公開の推進	3	事業の目的・経費およびその結果を市民に広く公表し、判断を求め、示す等の情報公開
周辺自治体との連携	1	広域市町村圏のメリットを活かした事業、施設の相互利用・共同化について検討
地番整理	1	住居表示の実施
庁舎改修	1	庁舎施設の改修・整備
市町村合併	1	水利確保のため水資源の豊富な近隣との合併を行う

7. 現総合計画で掲げる将来像の達成度

「21世紀のヒューマンフィールドやちまた」に“近づいた”は2割弱

現在の総合計画で掲げる将来像の達成度についてたずねたところ、「21世紀のヒューマンフィールドやちまた」に“近づいた”(「かなり近づいた」と「まあまあ近づいた」の合計)は17.8%と2割に届きませんでした。また、「3つの柱」である「美しい緑と水に囲まれ自然と共存する緑園都市」に“近づいた”は31.5%、「活力ある産業を営む北総の中核的都市」は10.0%、「いきいきとして多様な地域活動を行う文化都市」は19.0%となっています。

図表 15 将来像の達成度



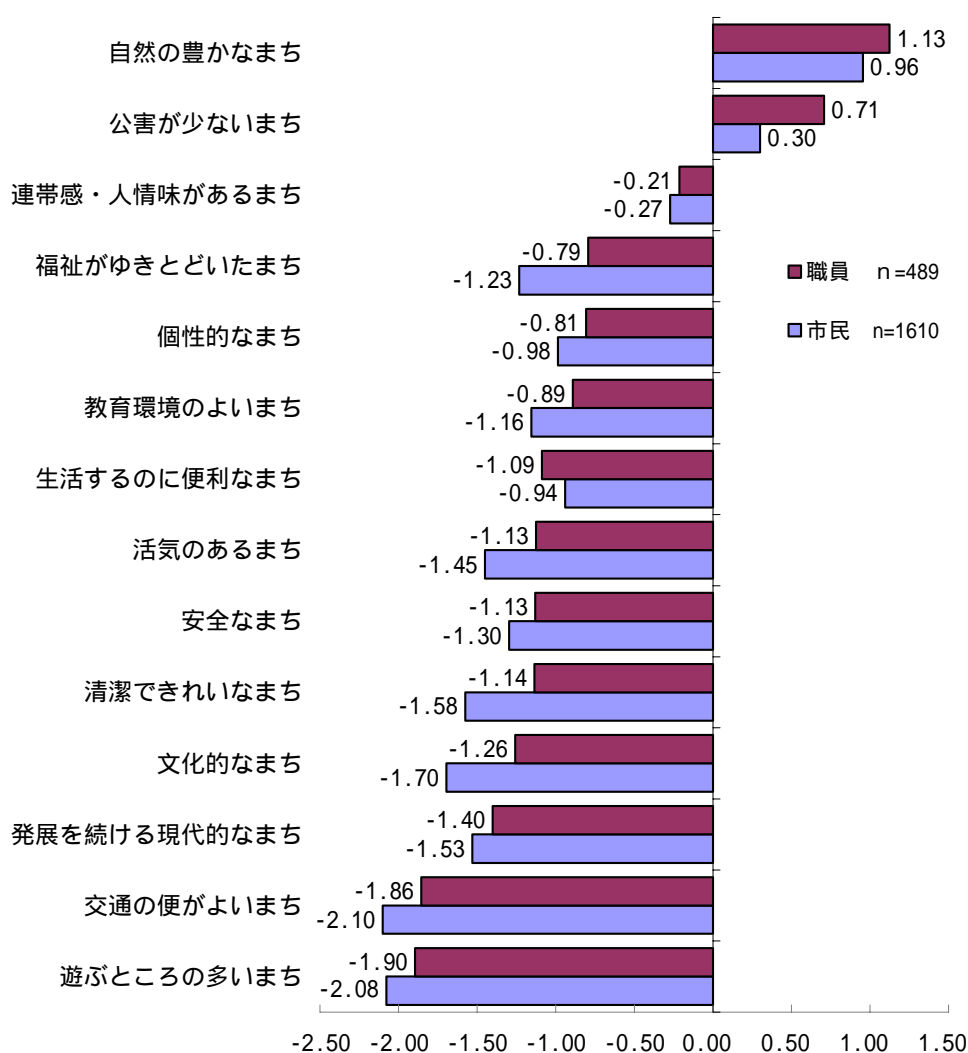
8 . 八街市のイメージ

「八街市のイメージ」は「自然の豊かなまち」・「公害が少ないまち」

八街市のイメージについてたずねたところ、評価がプラスのものは「自然の豊かなまち」(1.13)と「公害が少ないまち」(0.71)の2項目で、その他の12項目はマイナス(イメージに合致しない)となりました。

市民意識調査の結果と比較すると、指数がプラスの項目とマイナスの項目は同じとなりましたが、全体として市民のほうが厳しい評価をしています。

図表 16 八街市のイメージ

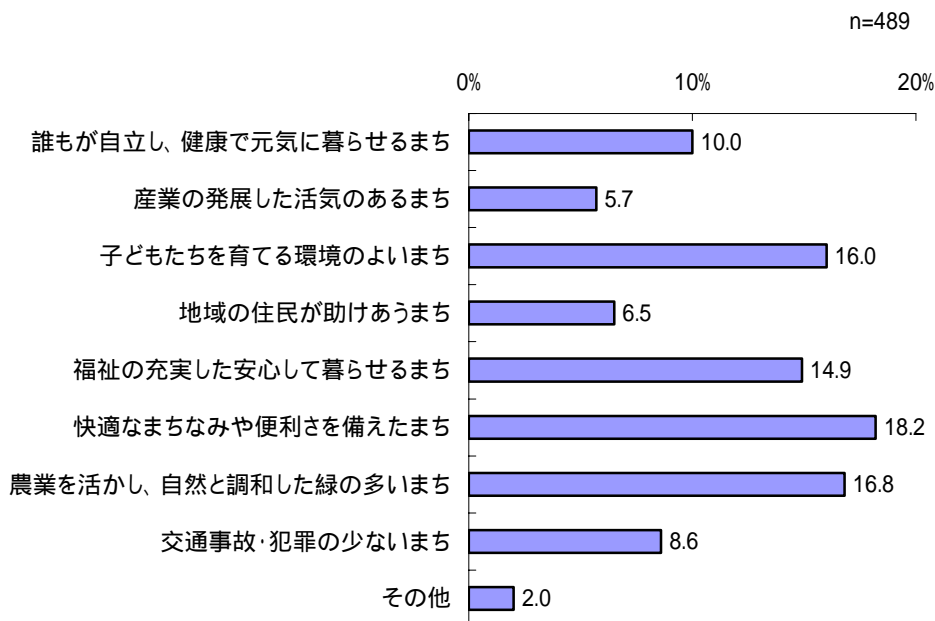


9. 八街市の将来像

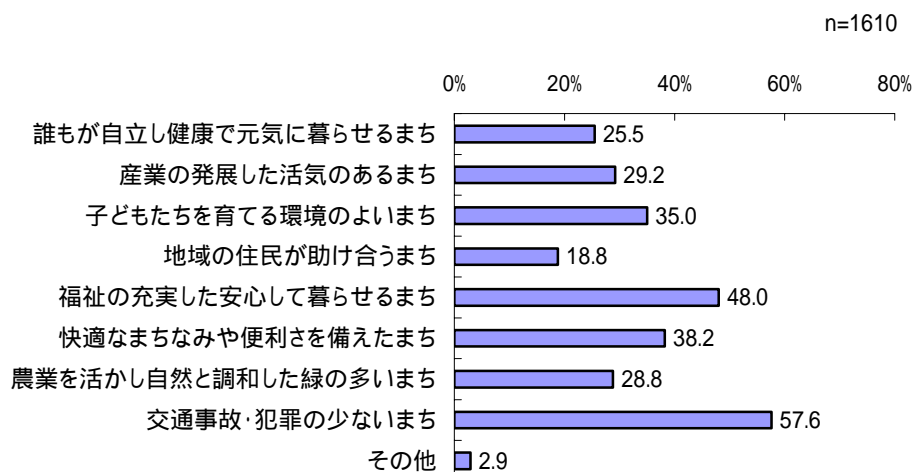
「八街市の将来像」は「快適なまちなみや便利さを備えたまち」

市の将来像についてたずねたところ、「快適なまちなみや便利さを備えたまち」が最も高く、18.2%となりました。次いで「農業を活かし、自然と調和した緑の多いまち」(16.8%)、「子どもたちを育てる環境のよいまち」(16.0%)となっています。

図表 17 八街市の将来像



参考：市民意識調査結果（複数回答）



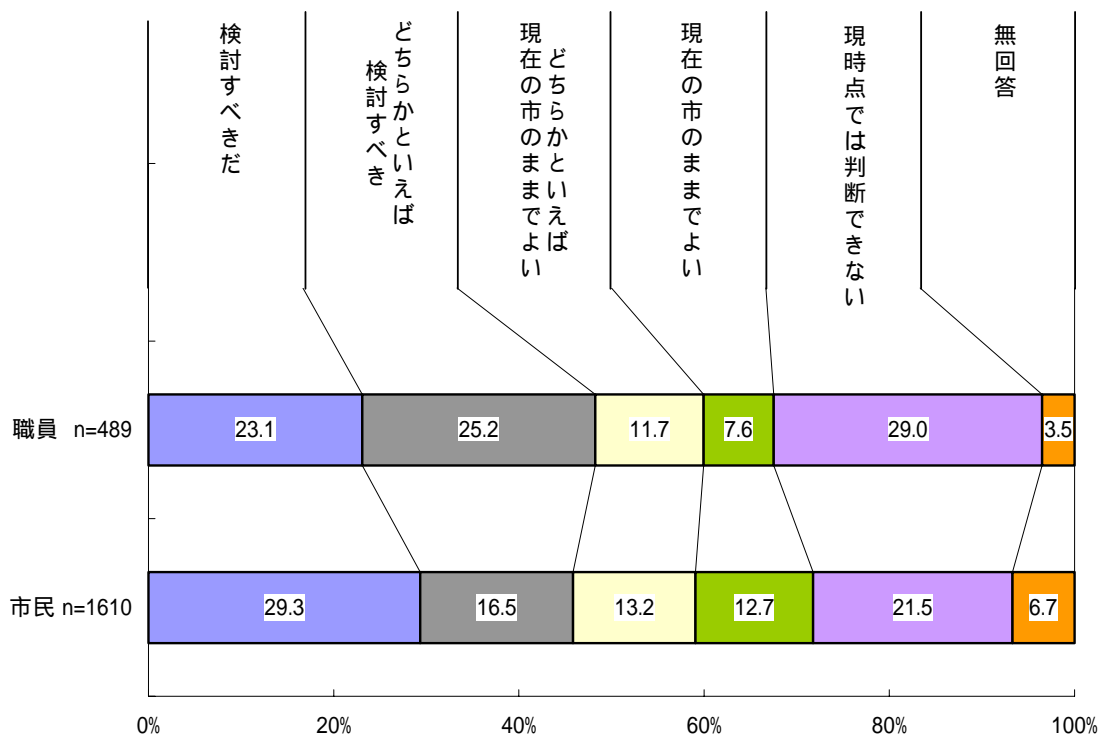
10 . 市町村合併について

市町村合併を“ 検討すべき ”は48.3%

市町村合併についてたずねたところ、「検討すべきだ」と「どちらかといえば検討すべき」を合わせた“ 検討すべき ”は48.3%と半数に迫っています。また、「現時点では判断できない」も29.0%と約3割みられます。

市民意識調査と比較すると、“ 検討すべき ”は職員アンケートのほうが2.5ポイント高く、「どちらかといえば現在の市のままでよい」と「現在の市のままでよい」を合わせた“ 現在の市のままでよい ”は市民意識調査のほうが6.6ポイント高くなっています。

図表 18 市町村合併について



1 1 . 市町村合併についての理由（自由記入）

(1) 合併賛成の理由

合併賛成の理由	件数	内容
財源確保	37	税金収入が増えるようにするため。
		地方分権により、次第に各自治体での仕事も増えて、小規模の自治体では財政的に耐えられないと考えられるから。赤字再建団体になってからは、さらに合併するのが難しいと思われる。
		合併しなかった場合、国から交付金等の減額が予想され、税収が少ない現状では、財政状況がさらに悪化するのとは明らかだから。
		財政状況がきびしいこと。合理化するのも1つの市では限界があると思う。
今後の参考として検討すべき	23	結果的に合併してもしなくても、検討はすべきであると考え。他の市町村の状況を把握するだけでも、今後発展していく上での参考となるから。また、八街市よりも発展している市と合併ができればその方が暮らしやすいまちづくりを実現しやすくなると思う。
		合併するしないについては両方の場合を検討して判断するべきだと思う。
		検討することによって、八街市の将来像をよりよく考える機会がもてるのではないのでしょうか。議論もなしに判断はできないと思います。
より発展できる	20	合併することにより、今までやってきたことでプラス面とマイナス面をはっきりさせ、プラス面についてはさらに伸ばし、マイナス面を解消していく。
		八街市だけで、果たしてどこまで発展できるのか？やはり限度があるのではないだろうか。他の市町村と合併し、互いに持っている各市町村の良い部分を出し合い、互いに発展することが、市民の為にもよいではないか。
		今後の発展のためには合併した方がよいのではないかと思います。
メリットのある市町村なら検討	18	合併する相手方との状況によるが、本市において利点となるようであれば検討を進めるべきである（僅かのことでマイナスになるのであれば合併はしない方がよい）。
		近隣市町村では、かなり以前から合併について検討していると思われる。八街市との合併を希望している市町村の声はあまり聞かれない。どこの市町村も財政難であり、合併することにより、今以上の快適環境になるメリットがあるのならば、検討すべきである。
		現在の市の財政状況はかなり厳しいと聞く。かなり短絡的な考えであるが、近隣の財政的にやや余裕がある市と合併して、少しでも国庫補助金を獲得したほうがよかったのでは。
住民サービスの充実	14	急激な人口増による行政サービスの遅れには、深刻なものがある。この際思い切って他市と合併することにより行政サービスの充実を図るのも1つの手だと思われる。
		今後、このような小規模の自治体では、生き残ることは難しい。市民サービス等についても、更に充実させていこうと考えるならば、合併問題に真剣に取り組むべき。
市民へ問い掛ける	9	合併すべきか否かの判断は、検討なくしてすることはできない。市民から意見があがらないからではなく、まず市当局が十分に検討を行い、その経過及び結果を市民に問うことにより、市民の意見が見えてくると考える。
		住民にとって有利な面と不利な面とを知らせるべきである。最終的には、住民が選ぶべきではないか。
コスト削減	9	合併は、究極の合理化である。（本来なら）市の将来を考えたらまじめに考えるべきである。市独自で究極の合理化（行革）を行えば別だが。
		市町村合併により、事業の見直し、組織の見直しができると思う。
土地利用が広域化し整備しやすい	9	広い範囲で市街化区域や緑地化などを決めて整備しやすくなる。
		合併により市街化調整区域等のエリアを設定できるようなきっかけが今更ながら出来ないだろうか。
取り残される	9	このままだと、八街市だけが取り残されていくような感じがする。財政面のことを考えても、検討すべきではないか。
		検討することが遅れてしまうと、後に残された市町村だけの合併として検討していく事が予想され、結果として、市町村合併の本来のメリットが十分に発揮できないことが懸念されるため。
公共施設共有可能	7	インフラ整備の遅れから、急いで整備をしているが、大規模な箱物については周辺市にあるものは、将来合併すれば必要なくなり、また、これらの投資が財政を圧迫し、赤字を招きかねないので、時限を切らないがなるべく早期に検討することが肝要である。

(前頁の続き)

合併賛成の理由	件数	内容
良いところを学ぶ	6	他市町村と合併することによって、八街市では実施されていない施策の方法等がわかり、事業が展開できることにより、住民により良いサービスを提供できるのではないかと考える。 八街市は閉鎖的で孤立しているように思われます。他市町村の行政の内面に目を向け、行政財政を検討すべきであります。
慎重に検討	6	それぞれの郷土・歴史がある以上、より慎重に検討、論議する必要があり、その上で合併が難しいのであれば無理矢理に合併する必要はないと思うが、検討すべきである。
ゆとり	6	地域自治体が大きければ、何事にも懐が深く、ゆとりのある行政が出来ると考えるから。
広域行政必要	5	21世紀という新たな時代を向かえ、地方行政はますます近隣の自治体との連携が欠かせなくなってきました。八街の特色をさらに生かすためにも市町村合併を視野に入れた取り組みが必要となると思います。
地域間の格差縮小	4	市町村間の財源、住民サービス等の格差を少なくする為にも合併は必要であると思われる。
もう遅い	3	今さら市町村合併の問題を取り上げるなんて遅すぎるのではないかな。
今よりいい	2	マイナス点も多いにあると思うが、今よりは少々良くなるのではとの期待です。
特例活用すべき	2	時期的に遅い気もしないが、将来、合併の可能性があれば特例法の適用を活用した方が良いのではないかな。(住民アンケートを参考に)
住みやすくなる	1	住民が住みやすい市に少しは変わるのではという期待をもっている。
イメージ向上	1	八街市に対する印象を回復できるのでは。空港問題が依然尾を引いているような気がする。
いまのままでよい	1	何も考えず合併するのなら、今のままでよいと思う。

(2) 合併反対の理由

合併反対の理由	件数	内容
独自に発展したい	11	八街市の歴史・文化・地域性等を十分に活用し、できるだけ独自の市政発展に努力していきたい。 市で抱えている課題実現のためには、合併せず、単独で進めていった方がよい。
メリットなし	10	合併しても大きく発展するとは思えない。 特に合併での利点が考えられないため。
伝統が失われる	6	八街市には長い歴史と落花生など全国に誇れる特産物がある。合併することによって市も大きくなり利点も多いと思うが、古くからの人とのつながり、歴史も大切にしたいと思う。
合併できそうなまちがない	6	近隣に合併できそうな市町村がない。 隣接市町村と比較すると各種整備の遅れ等が目立つため、合併を考えている市町村からするとメリットよりデメリットの方が目立ってしまい対等な合併ができないのではないかとと思われる。
行政の考え方の違いにより困難	5	その市町村によって地域の特性が異なるのだから、うまくいかないと思う。
負担増になる	5	合併によるメリットは、今後の国の対応がどう変わるかにもよるが、現時点で効果が少ないのではないと思うし、逆に合併のための新たな負担を将来に残すことになるのではないかと。
安易に合併しない方が良い	4	市町村合併が全ての面でプラスになるとは考えていない。総務省が大騒ぎしているからといって、安易にその流れにのる事は極めて危険であると考え。しかし消防組合のように共同で設置し、処理している事務が複数あるので、これをベースとして事務の効率化の検討を十分にしたらうで、メリット、デメリットを十分に明らかにした上で合併するのであればよいと思う。
サービス低下につながる	4	合併することにより広範囲になるため、住民サービスが低下すると思われるため。
きめ細かいサービスができる	3	街として大きくなれば発展するとは限らないと思う。住民からの声にスピーディーに応えるためにも、小回りのきく行政を目指したほうが良いと思う。
市の名前がなくなる	3	理由が感情論になってしまうが、合併によって八街の名前が無くなるのは故郷が無くなるような気がするため反対である。
自助努力していくべきだ	3	「合併ありき」の考えより、まず住民主体の地方自治を造り上げることが急務と思われる。
今のままで良い	2	現在の市の大きさのままで、発展していく事が望ましいと思うため。
現実的に無理だ	2	検討すべきと思うが、八街の現状や合併相手の関係もあり、現時点では難しいのではと思う。ただし、現下の本市の行政課題の解決手法として合併を選択するのであれば、すべての努力を合併の実現に向けてしかなく、おそらく極めて現実性が乏しいと言えるかもしれない。
住民からの要望なし	2	住民側からの合併に対する要望、働きかけも希薄であり、また他市町村からの具体的な提案が存在しない現状においては、積極的に合併を進めるべき緊迫した必要性はないと思われるものの、今後山積していく行政課題により市政運営が二進も三進も行かなくなった際には、必ず選択肢として浮上してくると思える。
給料低下は困る	1	これ以上お給料を下げられては困る。合併といっても八街市の場合吸収されてしまい、減給されそう。絶対いやです。
混乱する	1	市街化調整区域の線引きなど、合併によって必要に迫られる作業によって、混乱が生じるおそれがある。
時期尚早	1	駅周辺整備や八街バイパスなど、現在、発展に向かって進行中であり、今は合併の段階ではないと考える。
市長に賛成	1	流行に左右されやすい「やちまた」にしては、今回の合併に関しては、慎重(?)であり、首長の合併に対する考え方に共感する。
住民との意向をふまえる	1	市税の滞納率が高く、財政的な余裕もないことで、このままでは遅かれ早かれ財政再建団体になることは不可避であると思う。赤字団体となる前に手を打つべきと考えるが、地域住民や合併相手の自治体の意向も踏まえて結論を出すべき問題と考える。当然、自分を含めた職員のリストラも覚悟しなければならない。
地域の声が反映されない	1	規模が大きくなりすぎると、地域の声が反映されにくくなるため。
勉強不足	1	市町村合併について、現時点では知識不足、勉強不足のため。
リスクが大きい	1	財源確保に不安を感じるなか、今後、新しい事業を推進することは非常に困難なことと考える。そこで、現状の中でより良い状態を維持し、新しい八街を創造していくには合併はリスクが多すぎるのではないかと考える。
理由があれば合併でも良い	1	現実問題として、合併することがプラス方向に進むのであれば、今でなくともよいし、特に「...だから合併する。」といった理由があれば、どこからともなく話題になるのではないだろうか。

(3) 判断できない理由

判断できない理由	件数	内容
メリットデメリットがはっきりしない	22	メリットとデメリットをよく検討したうえで取り組むべきと思う。 合併によるメリットがあるようには思えない。 合併することによってプラス面、マイナス面が出てくると思うので、良いか悪いかは、判断できない。
相手による	10	現在の八街市と合併しようというところは、「吸収」として合併しようとするのではないか。そうすると、廃棄物処理場や、そういうものの「処理地」としての八街を欲しがっているだけで、「共に発展」するために合併することは難しいのではないか。(前向きな市町村があるのなら合併したほうが良いと思いますが) 合併する相手側の市町村によって、これからの市の将来がかわってくるので、どちらかは判断することが難しい。
市民の意向を尊重すべき	8	市町村合併については、市民の意向を十分に踏まえ、慎重に対応すべきではないか。 合併による特例債(期限つき)などのメリットと大きくなることにより、市民へのサービスがゆきとどかなくなるのではないかなどのデメリットとを広く市民に知らせ、検討していくべき。
他市町村の動向が不明	7	他市町村でも合併の動きが活発ではなく、具体的にどの程度合併の話し合いがされているのかわからないため。
問題多い	6	市町村合併については、各市町村にいろいろな問題があると考えられるので判断ができません。
相手がいない	5	八街市は線引きされていないのに近隣市町が合併してくれるのか。
文化の違い	5	八街市のまちづくりの基本理念又は伝統・文化を考えると近隣市と異なる。
検討は必要だ	5	市町村合併について、職員の見解がなされないままなんとなく今(もうタイムリミットですよ。)に至ってしまっているという体制(体質)に問題があるような気がする。
知識不足	4	今後考えなければいけない事とは思いますが、自分自身勉強不足ということもあり、判断ができません。
慎重に検討すべきだ	3	一つの企業体として考えれば、合理化を図るべきである。特に昨今の財政事情を考慮すれば、近い将来具体化されるだろうが、より慎重な考察が必要となる。
まだ具体的ではない	2	具体的にあがっていない為。
時期尚早	2	隣接する市町と合併することについては、利便性や将来どの様な点で共存し、お互いに発展性があるのかは現段階では見えてこないため、合併時期はまだ早いように感じられる。
成功するか疑問	2	いままでに合併した市町村が成功したかどうか現時点では判断しにくいから。
判断材料不足	2	佐倉市、酒々井町との合併を検討すべきかと思うが現時点では判断する材料がない。
必要性なし	2	人口が1万人にも満たない町村では、文化施設やゴミ処理施設等、それぞれの自治体での重複投資を避ける意味からも合併の必要性を感じるが、人口がある程度(5万人以上)ある自治体では必要性は感じられない。
市を分割する	2	市域が広いことから、地域によって生活圏が、千葉市、佐倉市、東金市、富里・成田市と分かれていて、合併すべき対象市町村が特定しにくい。極論、場合によっては、市域を分割して、その生活圏ごとに別々の市町村との合併ということも選択肢としてあり得るのではないだろうか。
交付税削減のための合併ではないか	2	国の進める合併は、交付税等の歳入の削減を目的としたところがある。居住する住民が自分の街の特性を活かしながら、街の将来を考えた上での合併を提唱することが望ましい。
考えたことがない	1	あまり深く考えたことはない。
このまましかない	1	都市計画の線引きもしていないまちを他市町村が受け入れてくれるとは思わない。したがって現在のままで良いわけではなく現在のまましかない。
将来的には合併やむをえない	1	子ども達が大きく育った町なので、現状維持でいてほしいのですが、財政難はどことも大変なので、将来的には、合併も致し方ないことなのかなと思います。
名前がなくなるのは寂しい	1	古くからの住民にとって、市の呼び方が変わってしまうのは残念であると思う。
将来が不安	1	合併しないでいけるのなら、このままでいいのですが、大丈夫なんですか？これからのことを考えたら、合併しないと赤字再建団体になってしまうのでは？

第3章 調査票

八街市の新しいまちづくりに向けて、担当の枠を越えた職員のみなさんの提言を求めます！！

八街市まちづくり<職員提言>シート

八街市次期総合計画(H17～36年度)

勤務年数	年	性別	男・女
------	---	----	-----

1 八街市の現状について

<強み> (良い点、進んでいる点、活かすべき特性・資源など)

<弱み> (欠点、問題点、遅れている点、改善点など)

2 八街市の今後のまちづくりの方向、重点分野

<めざすべきまちづくりの方向>

<重視すべき視点や重点分野>

3 今後取り組むべき新たな視点に立った重点施策など

分野や施策・事業の名称	施策・事業の内容

4 現総合計画で掲げる将来像の達成度

八街市は、平成7年度から平成16年度を計画期間とする八街市総合計画において、「21世紀のヒューマンフィールド八街」を将来都市像として掲げ、まちづくりを推進してきました。その目標となる3つの柱「美しい緑と水に囲まれ自然と共存する緑園都市」、「活力ある産業を営む北総の中核的都市」、「いきいきとして多様な地域活動を行う文化都市」に、現在どの程度近づいたと思いますか。あなたのお考えに近いものを1つずつ選んでつけてください。

		かなり近づいた	まあまあ近づいた	あまり近づいていない	ほとんど近づいていない
将来都市像	21世紀のヒューマンフィールドやちまた				
3つの柱	美しい緑と水に囲まれた自然と共存する緑園都市				
	活力ある産業を営む北総の中核的都市				
	いきいきとして多様な地域活動を行う文化都市				

5 市のイメージ

八街市のまちのイメージとして、以下の項目はあなたの持たれているイメージとどの程度合致しますか。1から4までの番号をひとつ選んでください。

	そう思う	やや思う	さほど思わない	思わない
1) 個性的なまち	1	2	3	4
2) 福祉がゆきとどいたまち	1	2	3	4
3) 清潔できれいなまち	1	2	3	4
4) 安全なまち	1	2	3	4
5) 交通の便がよいまち	1	2	3	4
6) 公害が少ないまち	1	2	3	4
7) 連帯感・人情味があるまち	1	2	3	4
8) 自然の豊かなまち	1	2	3	4
9) 活気のあるまち	1	2	3	4
10) 生活するのに便利なまち	1	2	3	4
11) 発展を続ける現代的なまち	1	2	3	4
12) 文化的なまち	1	2	3	4
13) 教育環境のよいまち	1	2	3	4
14) 遊ぶところの多いまち	1	2	3	4

6 市の将来像

市の将来像として、八街市はどのようなまちに発展したらよいと思いますか。ひとつ選んでください。

- 1) 誰もが自立し、健康で元気に暮らせるまち
- 2) 産業の発展した活気のあるまち
- 3) 子どもたちを育てる環境のよいまち
- 4) 地域の住民が助け合うまち
- 5) 福祉の充実した安心して暮らせるまち
- 6) 快適なまちなみや便利さを備えたまち
- 7) 農業を活かし、自然と調和した緑の多いまち
- 8) 交通事故・犯罪の少ないまち
- 9) その他 ()

7 市町村合併について

八街市の市町村合併についてどのようにお考えですか。ひとつ選んでください。また、その理由についてお書きください。

- 1) 検討すべきだ
- 2) どちらかといえば検討すべきだ
- 3) どちらかといえば現在の市のままでよい
- 4) 現在の市のままでよい
- 5) 現時点では判断できない

【理由】

()